

ジャカルタでの1年間

萩原 建

留 学 先：インドネシア共和国 ジャカルタ
私立アトマジヤ大学英語教育学部
留学期間：約1年間

①「埼玉を紹介」するまでの経緯

・留学先、ジャカルタの現状

現在ジャカルタには多くの日本企業が進出しており、在留邦人の数も1万人以上になります。

そのため、既に日本を知っている、又は言語や文化に興味のあるというインドネシア人も多く、ジャカルタの多くの人々が「東京」「大阪」「広島」「福島」といった日本の都市名を知っていることには驚きました。

しかし私が出身地を問われた際、「埼玉」と答えると、全員キョトンとした顔をするか、もしくは某人気漫画の登場人物を連想する人が多いのは悲しかったです。

事実、多くの外国人が訪れ、多くの海外チャンネルもテレビで観ることが可能なジャカルタで、現在日本について関心の持たれているものは、アニメと動画くらいなのだと痛感することが多くありました。

上述した内容と矛盾する点もありますが、正直なところインドネシア人は日本よりも、アメリカやヨーロッパ、又は近隣国オーストラリアに興味を抱く人が圧倒的に多かったです。

私は元々故郷への愛が強い性分のため、そういった経験は「俄然彼らにより埼玉について知って頂きたい」という動機になりました。

・編み出した戦略

親善大使として現地の方に埼玉を紹介するには、まずは彼らと近い人間関係を築くのが必須です。

インドネシアは300以上の民族集団から成り立つ多民族国家であり、使われる言語も共通語のインドネシア語以外に53（地方言語を除く）あると言われています。

そして全ての民族、全インドネシア人に共通して見られた特徴が、極度の「自分好き」と「故郷に誇りを持っている」というものでした。これは謙遜が基本の日本人とは大きく異なるものです。特にジャカルタは多くの学生、労働者がインドネシア中から集まる都市のため、自身の生い立ち、人間像にプライドを持つ彼らに近づくには、私も同じ方法を用いるべきだと思いました。具体的に

は、以下の通りです。

埼玉について興味を持っていただく戦略として、私は初め、『Orang Jepang (インドネシア語で「日本人」の意味)』としてインドネシア人に近づきました。

彼らと親密になるにつれ、「埼玉県民、又は美里人」としての自分の人物像を表す手段を用いました。

地方出身のジャワ人がジャカルタの高い価格について文句を言えば、「日本の首都東京も同じさ！あそこでは水が 15000Rupiah 以上(大体 150 円)するんだぜ！その反面埼玉なら…」と話を合わせつつ、埼玉の紹介をし、後述するシラット」の伝統技の一つ、Jurus Harimau(インドネシア語で「虎の型」の意味)を紹介してくれた友人には、「その動き…僕の故郷の関の獅子舞に似ている！」と、美里人として話を広げるよう試みました。

・結果

そういった行いが功を奏したのか、私には様々な民族、年齢層の友人ができました。帰国が近づいた頃、親友の1人に「タケルのお陰で日本人のイメージが変わったよ」と言われたのは、今でも誇りに思っています。

②現地で行った「日本の文化紹介」

・浴衣の着付け



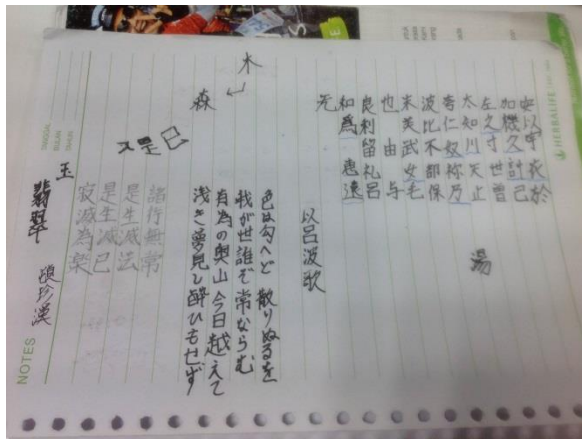
日本の大学に在学していた際に教わった着物の着付けを、ジャカルタの友人に行いました。

日本舞踊の紹介で、扇を用いた「京の四季」と、「秩父音頭」も少し披露しました。

・日本の文字の紹介

スラウ（イスラム寄宿塾）に住む同じ留学生仲間のバングラデッシュ人の紹介で、在インドネシア、イスラム文化教師のイラン人に会いました。

日本に興味があるとの事で、お互いに Huruf Hijaiyah(アラビア文字)と日本の文字を教えあいました。



ひらがなやカタカナ、漢字とともに、日本語の「いろは歌」を紹介しました。

・「芸者」についての議論

世界に” Geishya” の名前を広げた作品「蝶々夫人」を用いて、日本人女性の義を説明しました。

インドネシアのみならず、世界に名前の知られている「芸者」。

しかし、海外の人には「舞子」はおろか、「遊女」や「夜鷹」とも分類を一緒にされがちです。その誤解を解くため、授業中「芸者」についてのプレゼンを行ったところ、多くの人から質問攻めにされました。

・シラット対柔道・合気道

私は日本で柔道、合気道の経験が少しあるので、お互いに技を披露。

関節技を教えると喜んで真似したがるところは、どの国の男の子も共通でした。



「ブンチャック・シラット」

1000年以上昔から存在するとされている、インドネシア、マレー地域発祥の伝統格闘技。

日本の空手のように流派も多くあり、一見踊りのようにも見える独特な動きが特徴。

③現地で体験した伝統文化及びイベントの紹介

・ブンチャック・シラット（上を参照）

・ジャカルタ絆駅伝

在留邦人とインドネシア人の絆を深める目的で毎年行われるマラソン大会。

帰国1か月前に行われたこのイベントに、留学先で知り合った親友達とドリームチームを結成して参加。

